

服用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

解熱鎮痛薬 ツーシン錠

本剤は、頭痛・歯痛・生理痛・神経痛などの“痛み”や悪寒・発熱時の“熱”に対し、優れた鎮痛効果と解熱効果を発揮するよう処方した非ピリン系の解熱・鎮痛剤です。

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- 次の人は服用しないで下さい
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい
(眠気があらわれることがあります。)
- 服用時は飲酒しないで下さい
- 長期連用しないで下さい



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
(5) 高齢者。
(6) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
(7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(8) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。

(裏面に続きます)

皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

適応症

- 1) 頭痛・歯痛・拔牙後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15歳以上	3 錠	1 日 2 回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用して下さい。服用間隔は 6 時間以上おいて下さい。
11歳以上15歳未満	2 錠	
5 歳以上11歳未満	1 錠	
5 歳未満	服用しないで下さい	

- (1) 用法・用量を厳守して下さい。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (3) 錠剤の取り出し方。

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



組成と作用 1日量 6 錠中に次の成分を含んでいます。

成 分	6 錠中	主な作用
アセトアミノフェン	600mg	痛みをおさえ、熱を下げます。
エテンザミド	1000mg	痛みをおさえ、熱を下げます。
ブロムワレリル尿素	240mg	痛みによるいらいらを和らげます。
無水カフェイン	240mg	頭痛を和らげます。

添加物：バレイショデンプン、カルメロースCa、タルク、ショ糖脂肪酸エステル、ヒドロキシプロピルセルロース、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

お問い合わせ先
 田村薬品工業株式会社 お客様相談室
 フリーダイヤル 0120-4193-95
 受付時間10:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **田村薬品工業株式会社**
 奈良県御所市西寺田50